会議結果報告書

- 1 定例会
- 2 開会日時 令和3年3月23日(火)午後1時30分
- 3 閉会日時 令和3年3月23日(火)午後2時18分
- 4 出席者 教育長 委員 4人
- 5 議決件数 5件
- 6 議決の状況

原案可決	4件	承認	1件
一部修正可決	0件	同意	0件
継続審議	0件	報告済	0件
- 7 議事録 別添のとおり

教育委員会定例会議事録

1 会議年月日 令和3年3月23日（火）

2 招集の場所 くすのきプラザ 2F 研修室

3 出席者

教育長	高杉	良知
委員	坂田	眞澄
委員	上之園	公子
委員	神原	謙治
委員	松本	真奈美

計 5人

4 議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 教育長報告

日程第3 報告第21号 代理行為の承認について

「付議事件に関する意見聴取について」

日程第4 第14号議案 府中町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について

日程第5 第15号議案 府中町就学援助費支給要綱の一部改正について

日程第6 第16号議案 府中町幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について

日程第7 第17号議案 府中町スポーツ推進計画の策定について

5 職務のため会議に出席した者

教育部長	榎並	隆浩	教育次長兼総務課長	長西	弘子
教育委員会事務局主幹	大神	規正	学校教育課長	土井	賢二
社会教育課長	山本	進一	総務課総務係長	山王	真由美

6 議事の内容

（開議 午後1時30分）

教育長 それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、ただいまから定例の教育委員会会議を開催いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりですが、よろしいですか。

（異議なし）

教育長 それでは、日程第1「議事録署名委員の指名」を行います。会議規則によりまして、規定により私と坂田委員を指名することといたしますが、よろしいですか。

（異議なし）

教育長 では、次に参ります。日程第2「教育長報告」を議題といたしたいと思っております。教育長報告資料のほうをご覧いただきたいと思っております。

○2月19日（金）府中町議会全員協議会について

2月19日に府中町議会の全員協議会が開催されました。内容がたくさんありまして、一つは第4次総合計画の後期の改訂版、それから府中町人口ビジョン、この

改訂版、これについて協議がなされております。両方とも一応議会のいろいろなご質問を頂きながら、こういう形で町民の方の意見を聞いてみようということで、この協議会を経てパブリックコメントに移っていったのだったかな、と言ったような流れだったと思います。

それから、2点目が同じ総合計画の中の後期の実施計画、これについて協議を頂きました。

それから、3点目が第2期の府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略、この案についてご協議を頂いております。

さらには、老人福祉センター福寿館は、その性質上、お風呂があるのですね。そのお風呂も大分傷んできて、役割をもう終えてくるんじゃないかといったようなことで、そこの改修をしていくという形で議会のご意見を伺うということで提案をされました。

それから、つばきバスのルートとかダイヤの改正について、これもいろいろなご意見を町民の方から頂いておりますので、その辺を勘案して少しダイヤの改正、それからルートについても見直しをということで提案をされています。それから、それに併せてデマンド交通の試験運行をさせてほしいということもありました。こういったような内容で、かなり長時間にわたって全員協議会が行われたということでもあります。資料もこんなにありました。

○2月22日（月）総務文教委員会について

それから、2月22日ですけれども、総務文教委員会がございました。議会前の総務文教委員会ということで、本年度の一般会計補正予算についてということで、この会議で諮らせていただいたと思うのですが、学校に置く児童の顔認証で体温が出るとか、そういったようなことで、これも全部一応補正予算がつかましたということでもあります。

それから、来年度の予算の総務文教関係の主要なものについての報告をして、そういう形で説明させていただいて、そのもので議会のほうへ提案をしていくということになっております。大体こういった中身で総務文教がありました。

○2月26日（金）令和2年度第2回新任教職員研修会

それから、2月26日なのですけれども、新任の教職員研修、新採研というふうに言われますけれども、2回目をいたしました。今年、新採研はほとんど集まる機会がなくて、新採研の横のつながりがあまりできていないといったことがあるのですね。どうしてもテレビ会議システムを使ってやるとか、そういうことになって、あとは各学校のほうでいろいろな校内研修とかの中でやられているということが多くて、といいながら府中も2回目というふうに書いてありますので、1回目は8月18日に行いました。このときは、ここで全員集まってやりました。私も持ち時間を30分か、もうちょっともらっているかな。幾つかもらって話させてもらうのですが、その中でやっぱり1学期の、8月のときは1学期で一番に残っていることというのを一応聞いたりしました。第2回目は、その時に心に残っていることがどんな、それからどうなっていますかというようなことをお話をしながら、新採の人にお話をしました。それから、いつも新採の方には、実は初任者に送る教師の常識10か条という話をするのですね。実はこんなので、これは毎年やるのです。第1条は、教育は挨拶と笑顔から始まるというところから始まりまして、第2条は、休み時間は子どもと過ごさなさいとか、教師の本分は授業ですとか、退勤前の5分間で教室の整理をしていきなさいとか、10年後の自分の姿を今いらっしゃる先生の中から見つけてくださいねとか。これ1人じゃなくてもいいですよという話で、この先生のこの部分、この先生のこの部分、この先生のこの部分というのをきちっと見つけて、その理想の姿を自分なりに見つけていきなさいとか。研究会があったら進んで発言をなささいということで、スリー・ツー・ワンということをやろうと言うのですね。3つの感想を持つ、2つの質問を持つ、その授業とかその中身について1つは必ず意見を言えるようにといったようなことを話をしています。それから、報連相。これ社会人としての常識ですよということ。それから、やっぱり保護者からの苦情、クレーム。このクレームの中にこそ真実があることもあるよ

ということ、といったような話をします。危機管理であつたりとか足元からきちっと固めた、そういう服装で子どもの前に立ちなさいといったようなこともあります。最後に、打ち込める趣味を持つと。自分の世界を広げてくださいといったような話をして、これを2回目のときに自己評価をしてもらいます。今回ね。5、4、3、2、1とつけて丸をしながらといったようなことをやって、新採研をやっています。それから、やっぱり大体よく話をするのは、教育というこのすばらしいというか、この教育の世界に携わっていくってどういうことなのかということをよく話をしてきました。特に何のために学校ってあるのですかという話をとてもします。社会科の歴史のほうの免許だったもので、どうしても考え方が過去のことから引っ張ってきて未来を考えるような、どうしてもそういうような思考になっていくのですね。どちらかと言うと、数字をきちっと上げて、その数字を積み重ねている中で未来を見るというよりも、どちらかと言うと、そのそういう見方はあまり最近には合っていないのかなと思いますけれども、でもとても大事にしていきたいなと思っていて、よく中学校の社会科部会の先生なんか話をしたときに、文科省のその話をワークとするのですけれども、もしかしたら社会科の先生だったでしょって社会科の先生は当てるのですね。何で分かるのと言ったら、やっぱりこの話を作っていくときにやっぱり過去から積み上げて話をするのですよ。そもそもこういうときからこれってできたよね、何でこんな仕組みができたという、そこから話をし出すので、長くなって嫌われるっちゃそういうのなんです、ちょっと要らんことも言いました。といったようなことで、新採研がありました。

○2月28日(日)揚倉山健康運動公園上段多目的広場オープニングセレモニーについて

それから、2月28日に揚倉山健康運動公園上段の多目的広場のオープニングセレモニーを行いました。新聞でも報道されたり載っていたりしたので、ご承知の方もいらっしゃるかなとも思うのですけれども、一応、とてもきれいな人工芝が整備されて、3月1日からオープンをしております。20日からナイターでも使えるというようなことになっています。やっぱり大人気で多くの人が待っていて、予約を始めたときには、ごさそうの前に行列ができました。そのぐらい人気です。ということで、今日はそここのところをこのあと時間が許せば見ていただきたいと思います。大神主幹のほうの説明してくれると思いますので、よろしくお願ひいたします。

○3月5日(金)～3月16日(火)令和3年第2回府中町議会定例会について

それから、3月5日から3月16日まで12日間、長丁場ですけれども、議会の定例会がありました。内容は本年度の先ほど申しあげました補正。これについて、これも承認をされました。それから、来年度の予算について審議をしようということで、予算の特別委員会を設置されて、この中に教育関係の予算が入っているのかな。

教育次長 個別には入っていないくて、残りはお説明させていただけると。

教育長 ということで、内容は説明もあると思います。これまで教育委員会会議でも精査してきていただいているので。それから、一般質問については、全部で13名の議員の方から12問のご質問がありました。教育委員会関係は今回2問でした。一つは、LGBTの関係で橋井議員から、とうとう出てきたなという感じであります。府中町でも少しずつ配慮した取組が必要になってきていると学校のほうが随分感じているという中身であります。今は具体的な取組、校則の服装、中学校の制服なんかで少し配慮した動きをしていますけれども、まだまだ教員のほうのしっかりと勉強を、研修をまだ積み上げていくような段階であります。そのところはしっかりとやっていくということで考えておりますというような答弁をしています。それから、山口議員から、家庭教育の在り方についてということで、家庭教育についてのご質問を頂きました。府中の教育委員会としては、家庭教育支援は随分一生懸命取り組んできた内容でもあるので、そのことについてしっかりと説明をさせていただきます。

した。今後行政、それから家庭教育支援チームくすのきさん、民間の団体と行政、それから福祉と、このところの連携をしっかりとやりながらやっていきますといったような、やっぱり行政の得意な部分があれば、民間のくすのきさんだからできるという取組があるのですね。近所の身近なおばちゃんという感じのところの取組ですよね。そういったようなところの紹介をさせていただいたところでもあります。

○3月13日（土）中学校卒業式、3月19日（金）小学校卒業式について

それから、3月13日が中学校卒業式、3月19日が小学校の卒業式です。これも委員さん行っていただいて見ていただいたとおりではありますが、やっぱり寂しいのは寂しいですが、それにも負けないぐらい子どもたちは立派にしっかりと卒業して巣立っていったという感じを受けております。とても姿勢が良かったし、返事も良かったし、やっぱり卒業式はいいなというふうに思いました。また、この辺でもこの卒業式についてご感想等ありましたらまた後ほどお話をさせていただければと思います。

私からの報告は以上です。質問やご意見等ありましたら。

坂田委員

卒業式ですが、府中緑ヶ丘中学校に行きました。会場となる体育館の窓や扉を開けて換気を十分した上での卒業式でした。生徒のほうは礼もきちっとそろっていて、着席時には姿勢を正して話す人に向けて聞くことができていました。担任が呼名をして一人ずつ卒業証書を渡したのは、やっぱり生徒、また保護者にとって、心に残るものになったと思います。テンポよく渡したので時間もそんなにかかっていませんでした。終わった後、式場に入ることができない生徒につきましては、応接室にて卒業証書を渡す場面がありました。それに立会いました。生徒の保護者もとても喜んでいました。

それから、コミュニティーの皆さんが卒業生のためにということで、何日もかけて豪華な飾りつけや最後の見送りとなる渡り廊下のところですが、その下にくす玉を作ってそれを割って盛り上げたというのを見ました。学校をしっかりと支援しようとする力がとても高まっているように思いました。

それから、小学校のほうは府中東小に行きました。約45分に凝縮した式となりました。ここも感染対策を十分にとった会場の中で卒業生67名、それから保護者のほうは各家庭2名以内ということで行いました。それに在校生代表1名と教職員が参加していました。卒業生のほうは静寂した中、入場から証書授与、それから学校長式辞、送辞、答辞、退場など、規律正しく堂々とできていました。特に代表者による答辞のときには、保護者のほうを向いて起立して言っている間ずっと立って、保護者に自分の立派な姿を見てもらうことができてとても良かったように思います。保護者の方もとても感動されていました。以上です。

教育長

ありがとうございます。

松本委員

私なのですが、坂田委員と同じように中学校は緑ヶ丘中学校に参加させていただきました。本当に起立とかそういう号令がない形でも子どもたちはパッとできる状況で、本当に見ていて気持ちがいいのと、本当に立派だなというふうに感じました。私のほうは、もう本当に校長先生のお言葉がすごく胸に響きました。卒業生の皆さんも先生の言葉がきつといい、これから旅立っていくのに力になる言葉を頂いたんじゃないかなと思います。私ごとですけど、コミュニティーのほうに参加させてもらって、夜な夜な空いた時間にお手伝いに行って、お花を折ったり場所を飾ったりしながらお手伝いさせてもらったのですが、当日はくす玉も大成功で開いて、ワーッと盛り上がりながら、私たちが作った桜の花をちりばめた木を作っているのですが、そこに卒業生と保護者が立って写真を撮っていただいていたのが、「それ、私が作ったんです」と。喜んでもらったのがすごくうれしいなと思って、本当に今年の卒業生はいろいろなことが経験できなくて寂しい思いも我慢もいっぱいしたかなと思うけど、たくさんの方が卒業を祝ってくださる姿に、本当にきっとこれから頑張っていけるんじゃないかなと思いました。とてもいい卒業式でした。

中央小学校も行かせていただいたのですが、ここはもう本当に校長先生が6年間ずっと中央小学校に来てから最後になるのですね。そこで今の1年生、僕は6年間一緒だったんだということで、卒業はグッとくるよと言われて、本当ですねって言いながら、泣かないでくださいねって、私は泣かないようにしますとか言いながら、結局私のほうが結構泣いてしまったのですが、本当に校長先生とか教頭先生の横で、どれだけ最高の卒業式にするんだという思いが緊張感というか、それがすごい感じて、こちらまで緊張してしまって、一言一言とか子どもたちが階段を下りる一つ一つを校長先生が見られながら、無事に下りたねとか、マイクでちゃんと言えたねというのを、言葉にはされていないのですが所作とか空気を感じて、すごい私それで感動してしまって、ここが校長として最後の学校で最高の卒業式をというのが、校長先生の思いを感じたのが、そばにいて最高の卒業式だったなと思いました。その中にいるということが実は最高に幸せなんだなというのを、感動をたくさんいただきました。以上です。

上之園委員　それでは、私は府中中学校に参加させていただきました。感染予防に配慮されて、本当に静かな中で、規律はたくさんあったんですけども、礼一つとっても3年生の思いとかが伝わってくるような形ではないものがあって、それが3年間のこの学校生活とか学びの成果なんだろうなというのが伝わってくるような静かなよい式だったと思います。先ほど坂田委員も言われたように、それぞれいろいろあって全体の学級の席に入ることができないようなお子さんも何人もいらっしゃって、私たち参加した者はよく分からないのですけれども、あとでその初めて今日登校してきたとか、別の席から大きな声で返事をしていたとか、私たち外部の者には分からないようなその日に頑張った子どもたちというのがたくさんいたらしいというのを、それは担任の先生も予想以上のことをされたというようなことではないかなというのが伝わってまいりました。一人一人の子どもと、それから保護者の方もそれぞれの思いに沿ったような別室の卒業証書授与というのも立ち合わせていただいて、非常に感動しました。多分、卒業式という終わりじゃなくて、次のスタートにつながっていくようにというので、教職員の皆さんがいろいろお考えになったことなのかなということが非常に伝わってきて、卒業式の在り方というのを学ばせていただいたような気がします。以上です。

神原委員　私も教育長と上之園委員とで一緒に府中中学校の卒業式に参加させていただきました。本当に先ほど上之園委員が言われたようなことを本当にきちっと対応されていて、本当に来れなかった生徒が最後に来られて、校長室で8名の方に直接卒業証書を渡されたのですが、校長先生も本当に涙ながらに、本当に今日、ようやく来てくれたという、それだけでも来てくれたということに感動して、涙ながらに感動されていたことにも感動的でした。式自体は、本当に送辞を述べられた在校生の方の言葉に私も本当に胸がジーンとなるというか、その送辞を送る生徒に対してやっぱり卒業生がきちっと話を聞きながら、本当にすばらしい姿勢で話を聞く態度というのが、本当にこれから羽ばたいていく次のステップに行くというところで、りりしい雰囲気をすごく感じました。

あと、府中小学校の卒業式に教育長と一緒に参加させていただいたのですが、本当にいろいろ工夫を先生方もされているんだなというふうに思ったのが、卒業証書の渡し方が、まず担任の先生が呼名されて一人ずつ返事をするのですが、各クラスの代表者が代表で証書は登壇して校長先生から頂くのですが、退場のときに一人ずつに渡しながら、前のほうには当然生徒がいらっしゃって、保護者がいらっしゃいますけど、その間ですね。ちょうど真ん中に校長先生がいらっしゃって、そこで退場していく生徒に一人ずつ手渡していくと。保護者の方からもよく顔が見れているので、そういういい面もあってすごく工夫されているなど。本当に今年の一つのテーマじゃないのですが、できない中、いろいろな制約がある中でいろいろなことを工夫されて、少しでもいいようにというのを本当に体験された卒業式だったなというふうに感じました。以上です。

教育長 ありがとうございます。何か褒めていただければいい。たくさん確実に府中の教育、先生方頑張ってやっぱりいいものに仕上げているんだなということを感じました。ありがとうございます。

それでは、次に参りたいと思います。

日程第3、報告第21号「代理行為の承認について（付議事件に関する意見聴取について）」を議題といたします。説明をお願いします。

教育部長 教育部長です。報告第21号、令和3年3月23日、代理行為の承認について、付議事件に関する意見聴取について、教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により代理したので、同条第2項の規定により報告し承認を求めます。詳細な説明は教育次長が行います。

教育長 教育次長。

教育次長 教育次長です。資料3ページからの報告第21号「代理行為の承認について」ご説明します。

令和3年第2回府中町議会定例会に付議された議案のうち教育委員会に関係するものについて、令和3年2月25日付で府中町長から教育委員会へ意見聴取の協議がありましたが、教育委員会会議を開催するいとまがなかったため、教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により代理し、同意する旨の回答を令和3年2月25日付で行いましたので、同条第2項の規定により報告し、承認を求めます。

付議事件は、第2号議案 令和2年度府中町一般会計補正予算（第12号）、第5号議案 令和3年度府中町一般会計予算、第17号議案 工事請負費の締結について（府中東小学校エレベーター増築工事）の3件です。

資料6ページから26ページの第2号議案 令和2年度府中町一般会計補正予算（第12号）については、2月の教育委員会会議定例会において議決いただいております内容と変更はございませんでした。

また、資料27ページ、こちらのほうが表紙だけになっておりまして、今日追加で配付させていただいております、この横入りの第5号議案のほうになります。こちらのほうは、予算の全体の大わくのところの資料になりますけれども、令和3年度の一般会計の教育費の関係の教育費予算については、これまでご説明させていただいております。

続いて、28ページから32ページ、第17号議案 工事請負契約の締結については、府中東小学校エレベーター増築工事に係るものです。本件については、12月議会において繰越明許費（当該年度内に事業が終わらず支出が翌年になる事業費）として補正計上し、工事請負契約の事務を進めているものです。

30ページの第17号議案参考資料、建設工事契約概要をご覧ください。工事名が府中東小学校エレベーター増築工事、場所が府中町山田四丁目4番1号、府中東小学校、契約金額が6,017万円、契約相手方が株式会社砂原組、工期は議会の議決のあった日の翌日から令和4年3月31日までです。工事概要については、32ページA3判の工事概要説明書をご覧ください。今回増築するエレベーターは、バギー型車椅子を使用する児童と介助者が一緒に使用することを想定した大きさで、13人乗り（トランクつき）、バリアフリー新法対応となっております。

以上3件の議案について、原案どおり可決されました。

また、先ほど、教育長報告にもありましたが、3月議会での一般質問2件について、33ページから39ページに資料を添付しておりますので、参考までにご覧ください。説明は以上です。

教育長 今、報告ありましたけれども、何かご質問等ありますか。よろしいですか。

（質問なし）

ないようでございます。よって、日程第3、報告第21号については、原案のとおり承認いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようでございますので、日程第3、報告第21号についてはそのように決めます。

では、次に参ります。日程第4、第14号議案「府中町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について」を議題といたします。説明をお願いします。

教育部長 教育部長です。第14号議案、令和3年3月23日、府中町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について、府中町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則について、教育委員会の審議に付する。詳細な説明は学校教育課長が行います。

教育長 学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長です。それでは、府中町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正についてご説明させていただきます。

54ページをお開きください。新旧対照表をご覧ください。そちらで説明させていただきます。

まず最初に、出欠席の取扱い、第12条についてです。現行では、3親等のおじ・おばについては忌引扱いであります。同じ3親等の曾祖父母について記載がなく、忌引扱いとなっております。曾祖父母の特別欠席について、学校から問合せがあることが年に数件ですがあり、直系の3親等である曾祖父母についてもおじ・おばと同等の忌引とするため、加えて改正しております。

なお、参考までに近隣の市町の状況を調べましたところ、安芸郡の中では熊野、海田町は忌引の扱い、坂町は忌引の扱いにしております。範囲を広げてもう少し調べますと、呉市、大竹市、東広島市は忌引扱い、廿日市市が忌引扱いではないと。若干そろってはいないのですけれども、近隣のも参考にさせていただいて、府中町としては曾祖父母のところを加えていこうということで、今回改正しております。

次に、教育課程の編成、第18条第2項中「様式第13号の2」の次に「または様式第13号の2の2」を加えました。これは44、45ページをご覧ください。このように、様式、小学校と中学校を別々に決めました。今までは13号の2というところで小学校も中学校もどちらも教科が違うというところを3学年までしか使っていないような格好で様式1つでやっておったのですけど、ここ小中学校それぞれ教科も違いますし、学年も6学年なのか3学年なのかというところも違いますので、ここをはっきり分けさせていただいて、13号の2の2を加えております。

次に、特別の教育課程の編成、第18条2中「第53条」の次に「、第56条の2（省令第79条において準用する場合を含む。）」を、「様式第13号の3」の次に「、様式第13号の3の2、様式第13号の3の3、様式第13号の3の4または様式第13号の3の5」を加えました。まず、特別な教育課程として、これまで特別支援学級についての定めはありましたが、第56条の2（日本語指導）についてはございませんでした。現在、日本語指導も実施しており、特別な教育課程を設定しておりますので、条文を改め50ページの様式「第13号の3の5」を加えました。また、これまで、特別支援に含めていた通級指導教室の様式を、先ほどと同じように小学校と中学校を別々の様式に定めるため条文を改め、46ページの様式13号の3の「特別な教育課程に関する届（特別支援学級小学校）」、47ページの様式13号の3の2の「特別な教育課程に関する届（特別支援学級中学校）」、続いて48ページの様式13号の3の3「特別な教育課程に関する届（通級指導小

学校)」、ここで通級が入ってきます。49ページの様式13号の3の4の「特別な教育課程に関する届(通級指導中学校)」、と各様式を加えました。

また元に戻ります。54ページですね。次に、学校から教育委員会に関する報告する際の様式は、業務改善の観点から歳入、歳出に関わらないもの、予算にかかわらないものに関しては、押印を省略した様式に変更いたしました。これは42ページの様式12号から44ページの様式13号の2、51ページの様式14号から52ページの15号までを含んでおります。

また、同時に元号がこのたびの平成から令和とか、そういった変更となっても、様式変更が生じないように括弧書きで(元号)というような様式に記載を変えております。学校のほうでその時に合わせた元号を書いていただいで提出していただくと。

それと、最後に、来年度からとはなりますが、53ページ、卒業証書の様式ですが、これまでの縦書きから横書きへと変更しております。こちらは、昨年度に導入した校務支援システムの卒業台帳があるのですが、それを活用するとその台帳が横書きでありますので、業務を進める上で台帳の表記とそろえたほうが確認等、名前とか番号とかを確認する上で業務を効率的に進めることができるということから変更いたしております。説明は以上です。

教育長 たくさん説明があったのですけれども、何か質問ありますか。

坂田委員 73ページのところの卒業証書のところの説明があったのですけれども、あそこ(元号)というふうになっていますね。ここは入っていないのは何か訳があるのですか。

学校教育課長 生年月日もそうですし、多分、下の卒業式の日付ですよ。そこのも多分今は入っていないので、ここ確認しておきます。今までの様式でも恐らく入っていないので入っていないと思うのですけれども、多分ここ元号で今までも書いてあると思いますので、そこ確認させていただいて、加えるようであれば加えさせていただきます。すみません。

教育長 これ、以前からいろいろ問題のあるところなのですよ。保護者の中には元号のものは受け取れないという人も中にはいる。そこらに柔軟性を持たせているということなのかもしれませんが、確認をしてみてください。

学校教育課長 確認させていただきます。

教育長 そのほか何かありますか。今、まず一つは忌引のところでは曾祖父、3親等までを入れると。結構数件あるらしいんですね。やっぱり子どものほうから見ると直結なんですよね。おじ、おばって一つ離れますけど、直結なのでぜひというような声があるということ。それから、(2)13号の2のところは、小学校と中学校別々に定める。3のところは、特別支援学級のところに小中分けるのと、あと日本語指導を新たに入れていくということです。それから、押印の省略のお話ということ。さっきの(元号)の話、卒業証書を縦書きから横書き、これは学校にも照会をしているのですよね。こういう形で。

学校教育課長 はい。

教育長 学校も横のほうがいいですよという意見なのですかね。

学校教育課長 そうです。はい。学校長に全部聞いてから、横書きのほうがということで。

教育長 ということでこういう形にしていこうというようなことになっておりますが、いかがでしょうか。何かほかに質問ありますか。よろしいですか。

(質問なし)

教育長 それでは、ないようですので、日程第4、第14号議案については、原案のとおり可決いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようでございますので、日程第4、第14号議案についてはそのように決めます。

では、次に参ります。日程第5、第15号議案「府中町就学援助費支給要綱の一部改正について」を議題といたします。説明をお願いします。

教育部長 教育部長です。第15号議案、令和3年3月23日、府中町就学援助費支給要綱の一部改正について、府中町就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令について、教育委員会の審議に付する。詳細な説明は学校教育課長が行います。

教育長 学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長です。まず、本日は議案の差し替えとなります。申し訳ございませんでした。後ほどその経緯も含めてご説明させていただこうと思います。

まず、本日差し替えでお配りさせていただいた第15号議案をご覧ください。こちらの新旧対照表のほうで説明させていただきます。59ページをご覧ください。

まず、第1条、第6条及び第8条は語句の整理及び修正をいたしました。まず、第1条で就学援助を、「予算の範囲内において」行うことについてとさせていただいております。というのも、第6条で改正前が「予算の範囲内において」認定または不認定の決定を行うものとなっておりましたが、認定または不認定については「予算の範囲内において」行うものではないため修正いたしました。第8条については、こちらは現行が就学の目的以外の目的のために利用してはならないという、回りくどい言い方になっていましたので、こちらも字句の訂正をしております。就学の目的以外に利用してはならないと。意味合いについては、変更はこちらございません。

次に、第7条、こちら学校給食費のみ支給対象期間が「当該事実の発生した日」となっていたため、他の支給対象費目と同様にさせていただきました。理由といたしましては、転出しても給食停止が間に合わず給食費が発生する事例があり、そのため、保護者負担が発生するケースがありました。そういった事案を回避するための改正でございます。

最後に、第11条及び第12条は、就学援助費の支給を学校長へ委任し必要なものについては、学校から保護者へ現金等を振り込んでおりましたが、来年度から金融機関より学校から振り込む場合には、振込手数料の負担を求められたということで、教育委員会から直接保護者へ振り込むこととなるための改正です。これにより、振込手数料のほうは発生いたしません。

続いて、差し替えの理由ですが、今回見送らせていただいた差し替え前のオンライン学習の通信費についてですが、こちらに関しては、今回の改正からは見送らせていただいております。というのも、就学援助費の種類として「オンライン学習の通信費」を加えることについては、支給の対象者や支給対象期間等を運用で詳細に決定してからと考えております。その際に、周辺自治体の取組状況等も検討させていただこうと思っております。今回の改正には含めないことといたしました。事務が遅れている部分もありますが、大変申し訳ございませんでした。説明は以上です。

教育長 という説明でございますけれども、何かご質問ありますか。ありませんか。よろしいですか。

(質問なし)

教育長 オンライン学習等について、はまたもう少し熟度を上げて、周辺の状況もみながら検討していくということでもありますので、新たに配られたほうのこの紙で行きたいと思います。
ないようですけれども、ありませんか。よろしいですか。

(質問なし)

教育長 ないようでございます。よって、日程第5、第15号議案については、原案のとおり可決いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようでございますので、日程第5、第15号議案についてはそのように決めます。
では、次に参ります。日程第6、第16号議案「府中町幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について」を議題といたします。説明をお願いします。

教育部長 教育部長です。第16号議案、令和3年3月23日、府中町幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について、府中町幼稚園就園奨励費補助金交付要綱を廃止する訓令について、教育委員会の審議に付する。詳細な説明は、引き続き学校教育課長が行います。

教育長 学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長です。このたびの令和3年4月1日から廃止を施行する理由についてご説明させていただきたいと思っております。
府中町幼稚園就園奨励費補助金は、令和元年9月までが支給の対象月でありましたが、当該年度中及び出納整備期間、これ翌年度の4、5月になるのですけれども、遡及適用などに対応する場合のことも想定し、交付要綱の廃止は見送っておりました。令和2年6月以降であれば、交付要綱の廃止も可能ではございましたが、最終的に年度当初からの廃止という格好で整理を行うこととして、令和3年4月からの廃止としております。説明は以上でございます。

教育長 といった説明でありますけれども、何かご質問ございますか。

(質問なし)

ないようでございます。よって、日程第6、第16号議案については、原案のとおり可決いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようでございますので、日程第6、第16号議案についてはそのように決めます。
では、次に参ります。日程第7、第17号議案「府中町スポーツ推進計画の策定について」を議題といたします。今、配られたものですね。それでは、説明をお願いします。

教育部長 教育部長です。第17号議案、令和3年3月23日、府中町スポーツ推進計画の策定について、府中町スポーツ推進計画の策定について、教育委員会の審議に付す

る。詳細な説明は社会教育課長が行います。

教育長 社会教育課長。

社会教育課長 社会教育課長です。資料のページが一部漏れていましたので、差し替えをお願いしたいと思います。

本日、お渡しさせていただきました府中町スポーツ推進計画なのですが、推進計画の委員の方々のご意見、また先日の教育委員の皆様のご意見をまとめさせていただいて、これで最終版という形にさせていただきたいと思います。

まず、表紙をめくっていただきまして、はじめにということで、教育長の挨拶文を掲載をさせていただいております。時間の関係上、内容はご紹介できませんが、またご確認をお願いしたいと思います。

16ページをお開きください。

16ページの③高齢者のスポーツの課題についてということでございますが、15ページの前の表にございます、府中町健康づくりに関する調査の②のところ、高齢者の課題について1年以上継続的に運動をしていると答えた人ということでございますが、前は年代をまとめて割合を表示していたのですが、ご意見を頂きましたとおり、60代の男性・女性、70代以上の男性・女性の比率で、表と整合性が合うように表現を変えさせていただいております。また、一方でということで、運動はしないと答えた人ということも同じく60代の男性・女性、70代以上の男性・女性の比率を入れさせていただいて、ここを一部改正させていただいております。

あと、28ページをお開きください。

中段になりますが、基本施策に公共スポーツ施設の計画的な修繕・改修のところの主な取組の(3)のところ、ここを次のように改正させていただいております。揚倉山健康運動公園の下段多目的広場については、現在、土グラウンドとして利用できますが、利用率が少ない状況となっています。上段多目的広場の人工芝との相乗効果を踏まえて、より多くの住民が利用できる施設として利用促進を図りますという形に直させていただいております。本計画は、20ページ、21ページをご覧いただきたいと思いますが、府中町としては基本理念として一人一スポーツで心身活力みなぎる安芸府中、スポーツをする・見る・支えることを楽しむ町という基本理念と、21ページにございます基本方針、基本施策の中を掲げて、来年度から5年間この指針、基本理念、また基本方針、基本施策をしっかりと取組をさせていただいて、スポーツの推進を図ってまいりたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。説明は以上です。

教育長 これもいよいよスポーツ推進計画、素案という形でお示しをさせていただきましたけれども、教育委員さん方のご意見も踏まえた中で、最終的に今、こうして提示をさせていただいております。今、ざっと説明ありましたが、何か質問から受けたいと思いますが、何かご質問ありますか。よろしいですか。

(質問なし)

これまで何度も読んでいただいたり、何度も提案をさせていただいております。それでは、質問もないようでございます。よって、日程第7、第17号議案については、原案のとおり可決いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようですので、日程第7、第17号議案についてはそのように決めます。

以上で、本日の議事日程全てを終了したいと思うのですが、その前に私が教育長報告で一つ忘れておりました。議会の定例会の中で、議会の最終日に追加議案がご

ございました。このことを忘れておりました。一つは、副町長の選任の同意についてということで、現在の末平副町長がこのたびの3月末で退任をされるということがあります。その副町長に変わりました齋藤哲也さんという方が新たに副町長として就任をされるということで、同意をされました。また県の職員さんでありますし、坂町の副町長も務めてこられた方なので、今は外郭団体でお務めですけれども、62歳ぐらいの方でしたかね。

教育部長 そうですね。61。

教育長 1か2か、それぐらいの、といった方あります。

それからもう1件が、教育長任命の同意についてということで、私が退任をして新たに本日紹介した、新田憲章氏が教育長に就任と。これも全会一致で承認を頂きました。ということあります。この2点についてちょっと入れ忘れておりましたので、補足して説明をさせていただきます。ありがとうございました。

以上で本日の会議の全てを終了し、これをもって本日の会議を閉会といたします。

(閉議 午後2時18分)